

東京2020パラリンピック「青梅の火」

東京2020パラリンピック聖火とは

- ・全国47都道府県において、パラリンピック聖火の採火、集火、出立などを行う「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル」が開催されています。
- ・東京都の聖火フェスティバルは、青梅市を含む都内62全区市町村において採火を行い、それぞれの火を集火したものが「東京都の火」となります。
- ・日本各地で採火された47都道府県の火と、パラリンピック発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビルで興した火が一つになり、「東京2020パラリンピック聖火」となります。



「青梅の火」コンセプト

青梅の豊かな自然を支え、育む御岳渓谷の清流と太陽光を用いて
おこした火を「東京2020パラリンピック『青梅の火』」とする

「青梅の火」採火方法

- ①御岳渓谷の清流を透明な瓶いっぱいにとる
- ②瓶の曲線部で太陽光を一点に集めチャークロス（炭化した布）にあてる
- ③チャークロスから煙が出てきたら息を吹きかけ麻紐や杉の葉に引火させる
- ④火が大きくなったら採火棒を用いてランタンに火を灯す
- ⑤ランタンに灯した火を『青梅の火』とする

